

専門課程シラバス

授業科目	精神看護学実習		担当者	平井 豊美		実務経験	○(専任教員)
開講時期	3学年前期	授業の方法	臨地実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	精神障害をもつ対象の特性を理解し、生活者としての自立に向けて看護を実践できる能力と、対象を一人の人間として尊重する態度を養う。						
授業計画	<p><病棟></p> <p>1. 精神障害をもつ対象の理解</p> <p>1) 発病に至った経緯について、発症の時期や症状・治療経過にとどめず、生育歴や生活歴、家族背景、社会性、生活環境など広く情報を得て、精神に影響を及ぼす要因について考える</p> <p>2) 対象の治療目的・方法・内容を理解する</p> <p>3) 対象に現れている精神症状(意識・知覚・記憶・思考・知能・感情・意欲と行動・自己概念の異常)と状態像を解釈する。</p> <p>4) 健康な精神活動を把握する</p> <p>5) 対象の反応の意味を、精神状態・心理過程・生活背景などと関連させて考える</p> <p>2. 日常生活援助の実践</p> <p>1) コミュニケーション技術を応用し、対象との対人関係を構築する</p> <p>2) 対象のセルフケア能力をアセスメントする</p> <p>3) 患者や家族の希望・治療方針等を踏まえた目標を設定する</p> <p>4) セルフケアレベルに応じた看護計画を立案する</p> <p>5) 対象の状態を考慮し、セルフケアへの援助を行う</p> <p>6) 実施した援助を評価し、具体策を修正する</p> <p>3. 精神科看護の特徴の理解</p> <p>1) 離院・自傷・他害・自殺などを防ぐための配慮、人権への配慮を理解する</p> <p>2) 療養の場・生活の場としての環境と看護師の役割について理解する</p> <p>3) 精神科リハビリテーションについて、治療的効果と援助の在り方を考える</p> <p>4. 自己理解</p> <p>1) プロセスレコードや日々の記録を通して対人関係における場を振り返り、自己の感情や行動の傾向に気づく</p> <p>2) 対人関係における自己課題について明確化する</p>						
テキスト参考文献	<p>系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学① 第6版 第2刷 医学書院 2023</p> <p>系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学② 第6版 第2刷 医学書院 2023</p>						
成績評価の方法	実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行う。						